

令和5年度みやしろ健康福祉事業運営委員会  
第1回障害者福祉部会

議事要旨

開催日時	令和5年6月27日(火) 午後2時15分から午後3時20分	
開催場所	宮代町役場 101会議室	
委員14人	出席	根岸博美委員、飯山和弘委員、高橋久美子委員、遠田政宣委員、杉村健委員、吉澤久美子委員、沼田孝司、渡辺修委員、楠見弘樹委員、式田貴美子委員
	欠席	小林次祥委員、関根佐智子委員、山路久彦委員、小林祐太郎委員
事務局	宮代町福祉課 鈴木課長、小林主幹、荒川主査、平向主査	

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 令和4年度みやしろ健康福祉プラン最終評価について
  - (2) 令和5年度みやしろ健康福祉プラン目標設定について
- 3 その他
  - (1) みやしろ健康福祉プラン障害者編の策定について
  - (2) その他
- 4 閉会

【会議資料】

- ・ 次第
- ・ 資料1 みやしろ健康福祉プランー障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画ー重点事業進行管理評価表(令和4年度最終評価)(案)
- ・ 資料2 みやしろ健康福祉プランー障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画ー重点事業進行管理評価表(令和5年度目標設定)(案)

【議事】

(1) 令和4年度みやしろ健康福祉プラン最終評価について

<事務局から資料1について説明>

(根岸部会長)

ただいまの事務局より説明のあった内容について、質疑やご意見がありましたら、お願いします。

(吉澤委員)

4ページの6生活基盤の障がい者の雇用の場の創出で、近隣自治体等の取組状況について情報収集、意見交換を行えなかったということでC評価になっていますが、できなかった理由が何かありますか。

(事務局)

令和3年度に実施したことから令和4年は実施しなかったところです。

(吉澤委員)

一年おきということなのでしょう。毎年しなくてもよいという。

(事務局)

状況が変わっていないだろうと考え実施しなかったものです。

(吉澤委員)

令和3年度に実施した効果は。

(事務局)

令和3年度に意見交換、調査を実施しましたが、その評価検証できていない状況です。

(吉澤委員)

障がい者の雇用の場の拡大を目指しているので、近隣の情報を集めて意味がなかったのであれば、さらに違う検討をしていかなければいけないと思ったのですが。

私の記憶が定かではないのですが、町での障がい者雇用についての課題があって、以前は障がい特性に応じた採用の仕方になっていなくて、募集が来ても合格できない状況だったため近隣の状況を確認していく状況だったかなと記憶しています。町での障がい者雇用がまだまだ十分でないということであれば、さらなる方策を考えていただきたいなと思っています。現状はどんな状況でしょうか。

(根岸部会長)

町の職員採用を9月18日に行ったということですが、その合否はいかがだったでしょうか。

(事務局)

毎年度、町は秋に採用試験をおこなっていて、去年は9月18日だったわけですが、受験者は複数名おり、最終的には、障がい者の雇用に至っております。

(吉澤委員)

雇用率との関係はいかがですか。

(事務局)

令和5年度の最新の雇用率はまだ出しておりませんが、雇用率は達成できていませんが、人数は達成している状況です。法定雇用率は、来年度、再来年度と0.1ポイントずつ上がっていき3%となる国の方針が決まっております。それに向けて障がい者の雇用を進めていく方向で継続してやっていきます。近隣市町と話をしているなかでどの自治体も採用が難しい状況と考えておりました。長くつづかないケースもあります。仕事の内容や環境が合わないということもあります。いずれにしても、法定雇用率が上がっていくのでそれに合わせて採用していきたいと考えているところです。

(吉澤委員)

もともとは、地域にA型の事業所が欲しいとか、福祉的就労を含めた話ではあったのですが、町の姿勢として町も率先して障がい者を雇用しないと地域に浸透していかないという意見が委員会であり、そういった意味で町の考え方についても何年にもわたり意見がでていたことと思います。その視点は忘れずに積極的に取り組んでいただきたいし、近隣も含めて雇用が難しいと意見があるのであればなぜなのか分析していただいて、就労移行の事業所も地域にありますので、こういった部分をトレーニングしてもらったら採用できるのにとかの課題も積極的にいただいて、お互いにいい関係の中で雇用ができればいいなと思いましたが、引き続きお願いしたいと思います。

(根岸部会長)

他にございますか。

(杉村委員)

幸手市にあります平野の里の杉村です。2ページの障害者支援施設・グループホーム等の整備誘導のところで、私どものところは、入所施設を母体とした法人なので、グループホームも含めてどうしても生活の場が不足しているなかで、使いたいときに使えない利用者の期待に応えられない事業者側の状況があります。

宮代町で家族会と意見交換されたということですが、施設整備、グループホームが必要という声があるのかないのかお聞きしたいと思います。いろんな質のグループホームを運営している団体がでてきていますので、自分たちの地域は質の高いというか安定した質で福祉事業をやってももらう団体に支援してもらえたほうがいいと思うと、行政と社会福祉法人が連携を組めればいいのかと思います。そういったニーズがあるのか。宮代町はどうなのかなと思います。

(事務局)

家族会からはグループホームが設置できたらという意見を頂いております。昨年実

施した意見交換では、グループホーム設置に向けた具体的な話し合いではなく、福祉に関して疑問などにお答えしたり、ざっくばらんな話し合いを行いました。

(杉村委員)

私どもは入所施設をやっている、ある程度家族も本人も高齢化して、入所してくる方も一定数いるのですが、人生経験を積まれて、最後は誰も対応できないからというつながり方をされるとご本人が一番気の毒かなと、窮屈な暮らしになってしまうので、早めにいろんな選択肢で、地域で暮らせるのが一番いいと思いますので、今は必要ないとしても、少し先を想像した施設整備ができればいいのではないかと思います。意見としてお願いいたします。

(事務局)

先ほど申し上げましたが、昨年度は親の会と勉強会を実施しました。本年度は、勉強会のほかに施設見学をしたいという話をうかがっています。具体的な内容は決まっていますが、これから会の方と話し合いながら実現できるようにやっていきたいと思っています。

(根岸部会長)

他にございますか。それでは、議事1については案のとおり承認されましたのでよろしくお願いいたします。

(2) 令和5年度みやしろ健康福祉プラン目標設定について

<事務局から資料2について説明>

(根岸部会長)

ただいま、事務局より説明のあった内容について、質疑やご意見がございましたらお願いします。

(吉澤委員)

基幹相談センタートロコノ吉沢です。この計画の達成基準のところは、何をどれだけの程度いつまでという今年目標を書くのですか。以前に変えられない部分もあると聞いたことがあるのですが、この部分は令和5年度に取り組むものと捉えて良いのですよね。例えば、最後の避難行動要支援者支援体制整備のところ福祉避難所に係る課題の整理をするというのがありますが、昨年も同じ目標が出ていて、それに対して宮代特別支援学校で開設訓練を実施した。今後の課題で福祉避難所に非難する避難者のルール作りをする必要がある。という課題があるのですが、また、課題の整理をすることになってしまっているの、ここが更新されていくのかどうか。部分部分で見受けられるのが気になっています。

(根岸部会長)

普通にやる事が書かれている。例年、最低行わなければならないことが書かれているような気がします。

(遠田委員)

達成基準までは、毎年同じことが書かれている。何も変わっていない。スキルアップがされていない。スキルアップして次に行く。課題が出たら、その課題を次にどうするかを書いていってもおかしくないのかなと思います。そうでないと、5年間毎年同じことを書いているだけになってしまいます。

(吉澤委員)

ずっと、A評価になるというのもそういうところだと思います。

せっかく、取り組んだことによって課題がでているので、それが次の時に生かせるような書き方にしてくださいほうが。やっています。

私も福祉避難所の開設訓練に参加させていただいたのですが、非常に勉強になりましたし、すごく課題がいっぱいあるということが見えましたし、庁内連携の必要性も感じましたし、町としてもすごく大きな課題なのだろうと感じました。せっかくここまでできたのに、次につながる書き方になっていない。この書式が書きづらいということであれば、計画を立て直すときに、次の年に積み重ねられるように書式の検討も併せてしてもらえたらよいのかなと思いました。

宮代町さんは、障害者計画の進捗管理については、近隣の市町に比べて早く始られたので、画期的だったのですけれど、書式も古くなって書きづらくなっているという気がします。最近はじめられた市町を参考にしたりしながら、取り組んでいることを評価しやすい、次につながるが見えやすい形になったらさらに良いのかなと思いました。

(事務局)

達成基準の欄につきましては、今年度の達成基準を書くようになっています。その欄よりも左側については、計画を策定当時から変わらずに同じものです。達成基準については、昨年度の取組結果から見えた課題を踏まえて作成していきたいと思います。

(根岸部会長)

本日は、目標設定を決めてなければならないわけですが、今の意見を踏まえて、改善するのか、このままとするのか。このままとしても、気持ちは十分取り入れて課題解決に臨むということであれば、このままでよいのかなと思いますけれども。課長いかがでしょうか。

(事務局)

達成基準が同じものもございますし、ご意見のとおり同じではいけない部分もございます。例えば、最後の「福祉避難所にかかる課題の整理をする」の部分では、次のステップにいくのではないかといいことですが、この文言を書き換えをするか、取り組みの視点のところで、去年の内容を生かしたものとするかどちらかの方法で取り組ん

でまいります。ご理解いただければと思います。

(遠田委員)

例えば、課題・今後についての欄に令和5年度の結果で同じことが書かれてしまう可能性が無きにしも非ずです。例えば、1-1-2④「引き続き、学校現場の考えや困っていることを把握し、来年度の県立宮代特別支援学校との共催の夏季研修会内容について検討していく。」と書いてありますが、検討しておくことが次のステップの達成基準に出てくればいいのですけれど、出てこないのに令和5年度の課題・今後についての欄も同じことが書かれる可能性があります。課題が出て達成基準を変更しなければ書いてあるだけで終わってしまいます。課題が出たら、その課題が達成基準にシフトしていく仕組みができたらもっと良い報告書になる気がします。そうしないと、5年間同じ目標になってしまいます。一年一年多少なりともステップアップしていかないとおかしいし、課題の検討だったら5年またずに対応できたほうが良いと思います。

(事務局)

内容によるとはと思いますが、常に継続してその水準を維持していくための内容で同じ表記になることもあります。少しずつでも向上、改善していかなければならない項目もあると思います。項目によって改善を図ってかなければなりませんので、委員さんのおっしゃるとおりだと思います。

(根岸部会長)

ホップ、ステップが問われます。

(飯山委員)

社会福祉法人じりつの飯山でございます。このプランは誰のためのプランなのか。行政による行政のためのプランではなく、障がいのある方に対していうところを常に忘れずに計画の実施をしたり、行政の役割として何ができるかを考えていただくのが非常に大事なのかなど。計画を立てて実施することがもちろん行政の仕事ではあるのですが、その先にあるものが何であるかをしっかり踏まえて取り組んでいただければと思います。

(高橋委員)

7-1-3の福祉避難所にかかる部分ですが、昨年度、宮代支援学校で訓練をしていますが、今年はどうな予定でしょうか。

(事務局)

今年度は具体的な避難訓練の予定は立っておりません。課題を踏まえてどうするかというところで、今実施しても繰り返してしまうことになってしまうので、どのようにするか考えているところです。

(高橋委員)

町の防災訓練は、1年ごとに3地区で順繰りに実施していますよね。特別支援学校は町内では南側の地区ですよね。北側の地区や中央の地区での実施する考えはあるのでしょうか。昨年度の課題を踏まえ他の地区での実施の考えあるのでしょうか

また、避難行動の要支援者の名簿の更新についておそらく地区ごとに要支援者の数を把握していると思いますが、自主防災課には伝わっているのでしょうか。

(事務局)

今年度も自主防災会の連絡会がありまして、健康介護課から個別避難計画の作成の説明をいたしました。名簿は町から自主防災会にお渡しすることになっておりまして、名簿を受けとった自主防災会において個別避難計画を策定することになっていきます。

(高橋委員)

ステップアップを是非してください。

(楠見委員)

春日部特別支援学校の楠見です。私も達成基準の文言は、令和4年度と令和5年度がそう変わっていないと思っていて、令和4年度で話題になった6生活基盤6-1-2①の部分も令和5年度も同じになっています。昨年の評価を見るとここだけがC評価だったのですが、今年も変更なく去年相当のことになっていて、去年はできなかったわけですが。何か具体的なものは示されるものなのでしょうか。年度末に報告だけ受けるものなるのでしょうか。

(事務局)

実施した結果をお示ししたいと考えています。

(楠見委員)

近隣とはどちらの市町でしょうか。

(事務局)

埼玉県内の東部地区を考えています。

(楠見委員)

令和3年度はどのくらいにやったのでしょうか。

(事務局)

東部ブロックの市町で、北は幸手から南に向かって。いわゆる埼玉葛地区プラス草加市です。

(楠見委員)

毎年やると他の市町が負担となるので、2年に一度くらいが適当ということなのではないでしょうか。本来の目的だと思うのですが、こういった目的があるので毎年協力してくださいと言うのか。負担のかからないやり方でやるので結果もフィードバックします

ので毎年協力をお願いしますと言うのか。どこまでこのプランの中でウエイトをかけていくのかによってこの項目は違ってくるのかなど。そこが伝わりにくいと考えています。

(事務局)

令和3年度は12市町に文書で照会しまして回答をいただきました。そこを踏まえながら、事例等が宮代になじむものなのか取り組めるものなのかという分析も必要となってきます。飯山委員のおっしゃられたとおり事業の先に向かっていくための調査となるようにその内容をご意見を踏まえ精査してやっていきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。

(根岸部会長)

それでは、質疑等はないようですので、案のとおりでよろしいでしょうか。

来年度は取り組みの視点と結果をもっと具体的に示していただくということで、今日のところは終了とします。

本日のすべての議事が終了となりました。本日は、議事進行にご協力いただきありがとうございました。

**【その他】**

(1) みやしろ健康福祉プラン障害者編の策定について

事務局からみやしろ健康福祉プラン障害者編策定について説明をした。

(2) その他

事務局から「まちづくり基本条例」に関するアンケートへの協力依頼をした。